

# 令和6年度 学校経営要綱

古賀中学校 校長 村山 公之

## I 学校経営の基本構想

### (1) 学校経営の基本や基盤

- ア 日本国憲法、教育基本法、学校教育法をはじめとする教育関係法規、子どもの権利条約、学習指導要領を基盤とし、福岡県教育施策実施計画及び古賀市教育大綱、古賀市教育行政の目標と主要課題に則り、生徒や保護者、地域及び学校の実態に即して教育を行う。
- イ 中立性を確保し、公共性、公益性を目指して生徒の学習する権利を保障し、その実態を保護者や地域に公開することを原則とする。
- ウ 福岡県人権教育啓発基本指針、学校教育における在日外国人の人権に関する指導上の指針、古賀市人権施策基本方針に基づいて人権教育を推進する。

### (2) 学校の教育目標

**豊かな人間性とたくましく自らの人生を切り拓く生徒の育成 ～ひと育つ・こが育つ学校～**

豊かな人間性「ひと育つ」 :よりよい社会を創り出そうとする力の育成  
たくましく切り拓く「こが育つ」:変化の激しい現代社会の中で、生き抜くために一人ひとりが考え行動し、自らの可能性を最大限に発揮する力の育成  
古賀市が掲げる「チルドレンファースト」におけ、「ひとを育てる」・「子どもが育つ」学校づくり

### (3) 具体目標

#### ア めざす生徒像

- ① 将来の夢や希望をもった生徒 <自主>
- ② 難しいことでも失敗を恐れず挑戦する生徒 <協同>
- ③ 学校・地域をよくするために何をすべきかを考える生徒 <創造>

#### イ めざす学校像

- ① 「確かな学力」生徒が思考する教育活動が展開される学校
- ② 「豊かな心」自立して社会を生き抜くための基礎となる学びを育む学校
- ③ 「健やかな体」健康で安全な生活環境で学ぶことができる学校

#### ウ めざす教職員像

- ① 誇りと情熱を持ち、人権を尊重し、生徒に愛情ある教師
- ② 積極的に自己研鑽に取り組み、時代の変化に対応できる教師
- ③ 保護者、地域と協働して、将来を担う人財を育む教師

### (4) 教育課題・経営課題及び本年度の重点目標と経営の重点

教育課題	経営課題
○ 学力の向上 ○ 自尊感情の醸成 ○ いじめ・不登校削減 ○ 人権感覚の醸成	○ 働き方改革の推進 ○ キャリアに応じた人材育成 ○ 授業改善 ○ 人権・特別支援教育の充実 ○ 教育環境整備
重点目標	経営の重点
○ 生徒が思考する授業改善による学力の向上 ○ 規範意識の醸成、気づき行動する実践力の育成	○ 組織が機能する見直し改善 ○ 研究の推進 ○ 各研修への積極的参加体制

- ・ 教育活動を「目的」「内容」「方法」の3つの要素の整合性を図り、共有化
- ・ OODA ループを迅速に機能させた教育活動改善

## 2 具体的方策

### (1) 経営の重点を具現化する方策

#### ア 働き方改革の推進

- ①校務分掌の見直しと改善 一人一役から、適材適所(人材配置と配置数)、OODA ループによる校務運営
- ②業務改善(超過勤務削減) 「学ぶ時間」と「学ぶマインド」の確保(職員会議廃止、立ち話ミーティング、しっかり対話、各委員会の充実、ペーパーレス化)

#### イ 人材育成

- ①人材育成の充実 キャリア(育成指標)に応じたミニ研修
- ②校外研修会参加体制 基本研修、教育センター講座、研究、コアティーチャー授業参観
- ③校内研修の充実 授業改善、人権教育、特別支援教育、生徒指導、経営力

#### ウ 授業改善

- ①ICT教育の推進 多様な学びの機会として活用
- ②主題研究の推進 研究推進委員会を中核として推進を図る
- ③研究授業公開 主題研:年1回の授業公開
- ④学びのスタイルの実施と定着 古賀中学びのスタイルを全職員で定着させる
- ⑤生徒が学ぶ授業づくり 教科部会の充実

#### エ 人権教育、特別支援教育の充実

- ①インクルーシブ社会の実現 古賀市副読本のいのちのノート、支援センターとの連携
- ②地域連携 古賀中校区連絡協議会、地域との教育懇談会
- ③校内外研修の充実 人権教育研修会の充実(講師講話、海津木苑見学、外部施設連携)

#### オ 保護者・地域連携

- ①参観機会の充実 毎月1回の参観行事の設定と保護者アンケート
- ②地域交流 地域清掃(各行政区、大根川、古賀浜と松林)  
古賀市ウォーク、古賀市スケッチ
- ③保護者負担軽減 校納金の見直し改善、物品見直し改善、行政機関との連携、給食実施回数増

#### カ 教育環境整備

- ①安全点検 毎日の校内巡視、月1回の安全点検
- ②衛生委員会 毎月1回の開催と見直し改善
- ③教育相談 定期的な教育相談、SC、SSW、支援センター、市教育関係機関

### (2) 教育の重点を具現化する方策

- ① 学力向上 学びのスタイルの徹底・授業規律の定着・教科部会の充実・補充学習  
ICT活用、各テストの分析と課題への取組、若年教師の授業力向上
- ② 自尊感情の醸成 学校行事における学年目標の設定と生徒自己評価  
生徒会活動、学級組織の活性化  
善行表彰・校外ボランティア活動の機会充実
- ③ いじめ・不登校削減 いじめアンケートの確実な実施と迅速な対応  
いじめ防止委員会の定期的な開催  
ステップ適応指導教室の充実  
あすなる教室(市適応指導教室)、スタンドアローン  
SC・SSW・市子育て支援課等の外部機関との連携  
定期的な教育相談の実施(5月、7月、9月、12月)
- ④ 人権教育 人権が尊重される環境づくり、人間関係づくり  
人権が尊重される授業づくり(古賀市「いのちのノート」の活用、歴史学習)  
人権に関する知識理解、人権感覚の涵養(外部講師招聘「性教育・SNS等」)

3 本年度の重点目標

尊重し合い、挑戦する生徒の育成

【重点目標を達成するための行動化された生徒と教職員の姿】

～生徒と教職員の行動化された姿をそろえることで互いのウェルビーイングを高め合うことができる～

古賀中3愛の心

～褒め愛・許し愛・認め愛～

- <生徒>褒め合い(褒め愛)・・・人の違いを理解し、よさを褒め合う生徒を育てる。  
<教職員>感謝の表現 ……日常的に感謝の言葉や行動を取り合う教職員となる。
- <生徒>許し合い(許し愛)・・・自他を大切にし、相手の立場を尊重して許し合う生徒を育てる  
<教職員>寛容の雰囲気 ……あたたかい言葉で仲間を支援する教職員となる。
- <生徒>認め合い(認め愛)・・・主体的に学び、お互いを認め合う生徒を育てる。  
<教職員>思いやりの表明 ……互いに気遣い、尊重し合う教職員となる。

4 学校経営構想図

学校の教育目標

豊かな人間性とたくましく自らの人生を切り拓く生徒の育成  
～ひと育つ・こが育つ学校～

豊かな人間性「ひと育つ」：よりよい社会を創り出そうとする力の育成  
たくましく切り拓く「こが育つ」:変化の激しい現代社会の中で、生き抜くために一人ひとりが考え行動し、  
自らの可能性を最大限に発揮する力の育成

めざす生徒像

- ① 将来の夢や希望をもった生徒 <自主>
- ② 難しいことでも失敗を恐れず挑戦する生徒 <協同>
- ③ 学校・地域をよくするために何をすべきかを考える生徒 <創造>

めざす学校像

- ① 「確かな学力」生徒が思考する教育活動が展開される学校
- ② 「豊かな心」自立して社会を生き抜くための基礎となる学びを育む学校
- ③ 「健やかな体」健康で安全な生活環境で学ぶことができる学校

めざす教員像

- ① 誇りと情熱を持ち、人権を尊重し、生徒に愛情ある教師
- ② 積極的に自己研鑽に取り組み、時代の変化に対応できる教師
- ③ 保護者、地域と協働して、将来を担う人財を育む教師

本年度の重点目標 尊重し合い、挑戦する生徒の育成

【重点目標を達成するための行動化された生徒と教職員の姿】

～生徒と教職員の行動化された姿をそろえることで互いのウェルビーイングを高め合うことができる～

古賀中3愛の心 ～褒め愛・許し愛・認め愛～

- <生徒>褒め合い(褒め愛)・・・人の違いを理解し、よさを褒め合う生徒を育てる。  
<教職員>感謝の表現 ……日常的に感謝の言葉や行動を取り合う教職員となる。
- <生徒>許し合い(許し愛)・・・自他を大切にし、相手の立場を尊重して許し合う生徒を育てる。  
<教職員>寛容の雰囲気 ……あたたかい言葉で仲間を支援する教職員となる。
- <生徒>認め合い(認め愛)・・・主体的に学び、お互いを認め合う生徒を育てる。  
<教職員>思いやりの表明 ……互いに気遣い、尊重し合う教職員となる。

働き方改革の推進

重点1  
学力向上

重点2  
自尊感情  
の醸成

重点3  
いじめ・  
不登校削減

重点4  
人権教育  
の充実

保護者・地域連携

人材育成

人権教育、特別支援教育の充実

教育環境整備